

2013年2月1日

京都造形芸術大学 映画学科北白川派最新作
学生とプロ共同制作 劇場公開映画
福岡芳穂監督の
『正しく生きる -OVER THE RAINBOW- (仮題)』
2月5日にクランクイン

撮影期間: 2月5日(日)～3月4日(日)〈予定〉
撮影場所: 全編京都市内で撮影予定
キャスト: 岸部一徳氏、柄本明氏、鈴木卓爾氏、宮崎将氏+学生俳優 45名ほか
監督: 福岡芳穂

京都造形芸術大学(京都市左京区/学長 千住 博)映画学科の福岡芳穂監督(56歳)による劇場公開予定映画『正しく生きる-OVER THE RAINBOW- (仮題)』が2月5日にクランクインし、3月4日までの約1ヶ月にわたり、同学科^{たかはら}高原スタジオをはじめ、同大学共通工房ウルトラファクトリー、京都市内の数ヶ所等で映画撮影を行います。

今回の作品『正しく生きる-OVER THE RAINBOW- (仮題)』は、とある大きな災害をきっかけに人生が変わり始め、次第にいろいろな事情に巻き込まれるなか生きていく人物たちを描き、この漠然とした不安な時代を人が正しく生きるとは何か、問いかける群像劇です。脚本は、原案を手がけた福岡芳穂監督とともに、同学科長の高橋伴明監督が共同で執筆。演出部の学生スタッフも、養護施設や少年院などさまざまな場所へ取材を重ね脚本作りに参加しました。

「日頃人々が無意識に目をそむけているDVや社会的弱者などの問題を、学生たちと一緒に直視しながら作り上げている。その過程で、つらい現実を目の当たりにして涙を落とす学生もいるが、それらの過程すべてが映画製作であり、学生たちはそれらを通じて大きく成長している。」とは、福岡芳穂監督の言。

無差別テロを画策する高名なアーティスト柳田周役に俳優の岸部一徳氏、その友人役を柄本明氏が演じるほか、鈴木卓爾氏、宮崎将氏などプロの俳優が出演。それに対し、夫から幼少の娘を連れて逃げてきた母親・各務(かがみ)いつか役を映画俳優コース3回生の青山理紗が、柳田に敵愾心を持つ学生村上桜役を2回生の水本佳奈子が務めるほか、宮里紀一郎、浜島正法、上川周作、杉本瑞季が群像劇のメインキャストを務めます。

プロと学生が劇場公開映画を共同制作する同学科の北白川派プロジェクトの中で、これほどまでに学生の出演者に比重が置かれた作品は今回が初めて。その背景には、黒木華(くろき・はる)や大西礼芳(おおにし・あやか)、土村 芳(つちむら・かほ)など、同学科俳優コースの先輩らがプロの道に進んで活躍を始め、映画学科開設から約6年が経過した今、実力のある学生の層が厚くなってきていることがあります。

京都造形芸術大学 映画学科 (学科長 高橋伴明) は、第一線の映画人が集う自由で活気のある「撮影所」を学内に設けることで、学生に熱い生の学びの場を提供し、後に「北白川派」と呼ばれるような芸術運動にまで発展することを志しており、学生とプロと一緒に劇場公開映画を制作する企画を「北白川派」と名づけて取り組んでいます。2008年度に撮影された故木村威夫監督による『黄金花・秘すれば花、死すれば蝶』を第1作目に、2010年に高橋伴明監督(教授)による『MADE IN JAPAN ～こらッ!～』、2011年に山本起也監督(准教授)による『カミハテ商店』、2012年に林海象監督(教授)による『彌勒』(今夏公開予定)と毎年1作品を製作。第2作目からは配給・宣伝にも学生が参加しています。今回の撮影は北白川派第5作目。同学科の高橋伴明教授(共同脚本)、山本起也准教授(プロデューサー)、小川真司准教授(撮影監督)、嵩村裕司准教授(美術装飾)、浦田和治客員教授(録音)、水上竜士准教授(俳優)ら各部門の現役プロフェッショナルのもと、約100名の学生がスタッフあるいは出演者として参加します。劇場公開は2014年を予定しています。

福岡芳穂監督は、1957年北九州市生まれ(56歳)。早稲田大学在学中から若松プロダクションに参加。若松孝二、高橋伴明らの助監督を経て、79年『ビニール本の女 密写全裸』で監督デビュー。以降の主な作品に、92年『事件屋稼業 Trouble is my business』、95年『斬り込み』、99年『Danger de mort (ダンジェ)』、05年『愛してよ』等があります。

— この件に関するお問合せ —

京都造形芸術大学 広報室

鈴木・小松 (TEL: 075-791-9112)

『正しく生きる -OVER THE RAINBOW- (仮題)』

【ストーリー】

高名な芸術家であり、芸術大学で教鞭を執る柳田周(63)。彼は大きな災害による原発事故以降、自身の最後の作品として、放射性物質を使ったオブジェの制作を始める。だが、その身体には同時に死の影も忍び寄っていた。

とある街の弁当屋で働く各務(かがみ)いつか(21)。彼女は、幼い娘を連れて逃げてきた。災害、家庭…色々なものから。

テレビの報道で大きな災害を知ったいつかの弟内田圭(19)は、漫才師になる夢を持つ佐伯朝雄(19)、森優樹(19)とともに少年院を脱走し、姉の行方を探し始める。

“震災”によって人生が変わり始めた人々。また、その流れに巻き込まれて行く人々。そうした状況に直面したとき、彼らの生き方は、社会一般で言われるような“正しい”生き方ではなくなっていくのかもしれない。

では、“正しい”とはどういうことなのか。

何を以て“正しい”とするのか。

己が“正しい”と思うものに向かって進んで行く人々それぞれの“正しく生きる”姿を描き、見つめ、問う。

【作品概要】

タイトル： 正しく生きる -OVER THE RAINBOW- (仮題)

上映時間： 90分(予定)

製作： 株式会社マジックアワー 株式会社豆プロダクション 有限会社ナチュラルプランニング
株式会社リトルモア 株式会社北白川派

製作協力： 京都造形芸術大学／京都造形芸術大学映画学科

クランクイン： 2013年2月5日

クランクアップ： 2013年3月5日

公開予定： 2014年公開を予定

出演者リスト

柳田 周(63)	岸部 一徳
白石 健彦(63)	柄本 明
村上 桜(20)	水本佳奈子(俳優コース)
各務 いつか(21)	青山理紗(俳優コース)
各務 泰志(42)	鈴木卓爾
各務 遥(5)	早川 紗月
佐々木 浩介(34)	宇野 祥平
内田 圭(19)	宮里 紀一郎(俳優コース)
佐伯 朝雄(19)	浜島 正法(俳優コース)
森 優樹(19)	上川 周作(俳優コース)
阿部 未夢(19)	杉本瑞季(俳優コース)
久保田 滾(28)	宮崎 将
金子 勲(46)	水上 竜士
内海 誠司(19)	衣笠 友裕(俳優コース)
大島 守(19)	伊藤 祥(俳優コース)
久保田 讓(18)	岡村 勇市朗(俳優コース)

ほか、京都造形芸術大学映画学科俳優コースの学生約35名が出演

スタッフリスト

監督	福岡 芳穂
プロデューサー	有吉 司／福岡 芳穂／山本 起也
脚本	北白川派／高橋 伴明／福岡 芳穂
撮影監督	小川 真司
録音	浦田 和治
美術装飾	嵩村 裕司
編集	鈴木 歓
衣裳	辻野 孝明
メイク	新井 みどり
監督補	浅利 宏
制作主任	高橋 伴明／田中 慶子
アクション指導	中村 健人
漫才指導	堰 守(よしもとクリエイティブ・エージェンシー)
演技事務	水上 竜士
配給・宣伝	株式会社マジックアワー (有吉 司/小池 実穂/吉永 裕子/小里 貴子/木原 佑輔)

ほか、京都造形芸術大学映画学科学生約55名がスタッフとして参加

北白川派 参考写真



2008年8月『黄金花』撮影現場
(学生は炊き出しを含め撮影現場の全てを実地に経験)



2009年8月『MADE IN JAPAN〜こらッ!〜』
撮影現場



2011年2月『カミハテ商店』撮影現場



2012年7月『カミハテ商店』
カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭 (チェコ)



2012年2月『彌勒』撮影現場



『正しく生きる』練習風景

京都造形芸術大学 映画学科

【2013年1月29日現在】

開設： 2007年4月1日

コース：
◎映画監督コース
◎映画技術コース
◎プロデュースコース
◎映画俳優コース

在籍者数：
1回生 76名
2回生 81名
3回生 76名
4回生 76名

撮影スタジオ： [Aスタジオ]
◎広さ： 134.97 m²
◎高さ： 5200mm（室内高）
◎建物の構造： 鉄骨造
◎建物の階数： 1階建

[Bスタジオ]
◎広さ： 129.20 m²
◎高さ： 5200mm（室内高）
◎建物の構造： 鉄骨造
◎建物の階数： 1階建

◎構想： 木村威夫（映画学科客員教授/映画美術監督）
◎竣工日： 2007年6月1日

その他設備：
◎上映ホール
◎試写室
◎稽古場
◎編集ルーム
◎MAルーム

映画学科 2012 年度教員体制リスト

【2012 年 4 月 1 日現在 / 50 音順】

【教授】

伊藤 高志 (実験映像作家)
高橋 伴明 (映画監督) [学科長]
林 海象 (映画監督)
福岡 芳穂 (映画監督)
寺脇 研 (映画評論家) ※所属は「マンガ学科」
藤間 勘世 (日本舞踊) ※所属は「芸術学部」

【准教授】

小川 真司 (映画撮影)
嵩村 裕司 (映画美術)
北小路 隆志 (映画評論家)
水上 竜士 (俳優、演出家、脚本家)
山本 起也 (映画監督) [副学科長]
リオ・チェン (映画研究者)
李 尚宰 (映像作家)
※所属は「情報デザイン学科」

【客員教授】

青島 武 (脚本家・映画プロデューサー)
浦田 和治 (映画録音)
絵沢 萌子 (女優)
柄本 明 (俳優)
大杉 漣 (俳優)
川津 祐介 (俳優)
田口 トモロヲ (俳優)
東 陽一 (映画監督)
松尾 貴史 (俳優)

【非常勤講師】

麻田 弦 (映像作家)
浅利 宏 (映画演出)
新井 みどり (映画メイク)
井上 泰治 (監督・脚本家)
有吉 司 (映画配給、株式会社マジックアワー代表)
上野 隆三 (殺陣)
大澤 浄 (映画研究)
大迫 英喜 (松竹専属俳優)
岡部 尚子 (俳優・脚本家・演出家)
小川 勝広 (映画プロデューサー)
小澤 幸代 (タップダンス)
加藤 正人 (脚本家)
極並 浩史 (映画装飾)
倉田 修次 (映画撮影)
黒崎 創 (写真家)
齋藤 進之介 (映画演出)
清水 充 (映画録音)
進藤 盛延 (プロデューサー)
鈴木 歓 (映画編集)
鈴木 卓爾 (映画監督・脚本家・俳優)
清家 三彦 (殺陣、擬斗)
瀬尾 みつる (脚本家)
宗 理起也 (特殊メイクアップ・造形)
高橋 剣 (撮影所制作)
竹内 公一 (映画美術)
武田 俊彦 (美術家)
辻野 孝明 (映画衣装)
ツツミ アスカ (アーティスト)
土肥 悦子 (シネモンド (映画館) 代表)
豊浦 律子 (映画撮影)
中村 健人 (映画アクション)
西尾 孔志 (映画祭企画ディレクター、映画監督)
野崎 八重子 (スクリプター)
福本 るみ (結髪)
古川 真穂 (歌手)
松下 隆一 (脚本家)
松江 哲明 (映画監督)
村上 勝彦 (社交ダンス)
村山 尚嗣 (Web ディレクター・アートディレクター)
室 千草 (映像作家)
森脇 清隆 (京都文化博物館主任学芸員)
矢田部 吉彦 (東京国際映画祭統括プロデューサー)
山下 義明 (演技事務)